

氏名	寒川 友起子(そうがわ ゆきこ)
職名	助教
専門分野	成人看護学(主に急性期看護)
学歴	和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 修士課程修了
学位	修士(保健看護学) 和歌山県立医科大学
担当科目	(学部)急性期看護実習、教養セミナー、早期体験実習、統合実習Ⅰ、統合実習Ⅱ 保健看護管理演習
研究テーマ	1. 生活習慣病に関わる遺伝・環境要因に関する研究 2. 学齢期の肥満と早期動脈硬化リスクに関する研究 3. 急性期看護学実習における学生についての研究
所属学会	日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本高血圧学会、日本小児循環器学会、日本臨床生理学会、保健看護学会
研究業績	<p><論文></p> <p>1. 内川友起子, 中村千種, 宮井信行, 伊藤克之, 石井敦子, 内海みよ子, 有田幹雄:メタボリックシンドロームにおける砂浜ウォーキングの心血管危険因子に与える影響—無作為クロスオーバー法による検討, 心臓 44(7), 799-804, 2012.</p> <p>2. 内川 友起子, 宮井 信行, 伊藤 克之, 藪 真悠子, 石井 敦子, 志波 充, 内海 みよ子, 有田 幹雄 中高年者における歩行運動が心血管危険因子および動脈スティフネスに及ぼす影響, 日本臨床生理学会雑誌40(4), 185-192, 2010.</p> <p>3. 宮井 信行, 富田 耕太郎, 森岡 郁晴, 内海 みよ子, 内川 友起子, 辻 あさみ, 服部 園美, 有田 幹雄, 武田 眞太郎, 宮下 和久: Serum uric acid is associated with the risk of future hypertension in middle-aged normotensive men, 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要 10, 15-23, 2014.</p> <p><学会発表></p> <p>1. Uchikawa Y, Miyai N, Morishita M, Okano Y, Yamamoto M, Ohnishi S, Utsumi M, Miyashita K, Takeda S, Arita M: The effect of sleep loss on insulin resistance and blood pressure in healthy adolescents. The 26th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, 2016. 9, Seoul, Korea.</p> <p>2. 内川友起子, 宮井信行, 井戸上綾香, 平田千秋, 内海みよ子, 宮下和久, 武田眞太郎, 有田幹雄:若年健常者における血圧上昇と肥満および塩分摂取量との関連. 第34回日本高血圧学会, 2011. 10, 宇都宮市</p> <p>3. 内川 友起子, 宮井 信行, 内海 みよ子, 上松 右二, 志波 充, 宮下 和久, 有田 幹雄: 地域在住中高齢者におけるサルコペニア肥満が血圧および糖・脂質代謝指標に及ぼす影響, 日本高血圧学会臨床高血圧フォーラム第4回, 2015.</p> <p><受賞></p> <p>1. 第16回日本臨床生理学会優秀論文賞受賞「中高年者における歩行運動が心血管危険因子および動脈スティフネスに及ぼす影響」</p>
メッセージ	<p><学生へのメッセージ></p> <p>私はこれまで臨床で看護師として働き、看護のすばらしさややりがいを多く感じてきました。しかし、看護には厳しさや難しさも多くあり、日々看護について考えることが重要だと感じています。これから、成人看護学の主に急性期看護の教員として、これまでの自分の経験を活かしながら、学生さんと共に実習を通して多くの学びを得たいと思います。また、そうすることで自分自身も教員として成長し、学生のみなさんが大学生活のなかで多くの学びを得られるよう、支援していきたいと思っています。</p>
メールアドレス	uchiyuki@wakayama-med.ac.jp